

○ 気象庁 放射線物質拡散予測

「東京電力福島第一原子力発電所の事故で、気象庁が放射性物質の拡散予測を連日行っていたにもかかわらず公開していなかった問題で、同庁は5日、拡散予測を初めてホームページで公開した。」

というので、気象庁のHPで探してみたのですが、見つけれなくて、くじけたのは私だけでしょうか？

執念で見つけたのが、以下です。

[http://www.jma.go.jp/jma/kokusai/kokusai\\_eer.html](http://www.jma.go.jp/jma/kokusai/kokusai_eer.html)

ここの長〜い説明と言訳の最後の、「IAEAからの要請と当庁が作成した資料一覧」で見つかります。

見ても、この資料は一定の仮説で作ったもので実際の状況を反映していないし、大雑把なものである、というのが気象庁の見解のようです。ですので、見たからといってどのように判断するかは、自分で決めるしかありません。

よほどこの資料は不正確らしく、以下の文章が繰り返されますが、

- 国内の原子力防災については、緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)による試算結果が公表されています。

SPEEDIは一回しか公表されたことしかないので、だからなんだ、と言いたくなりますが。